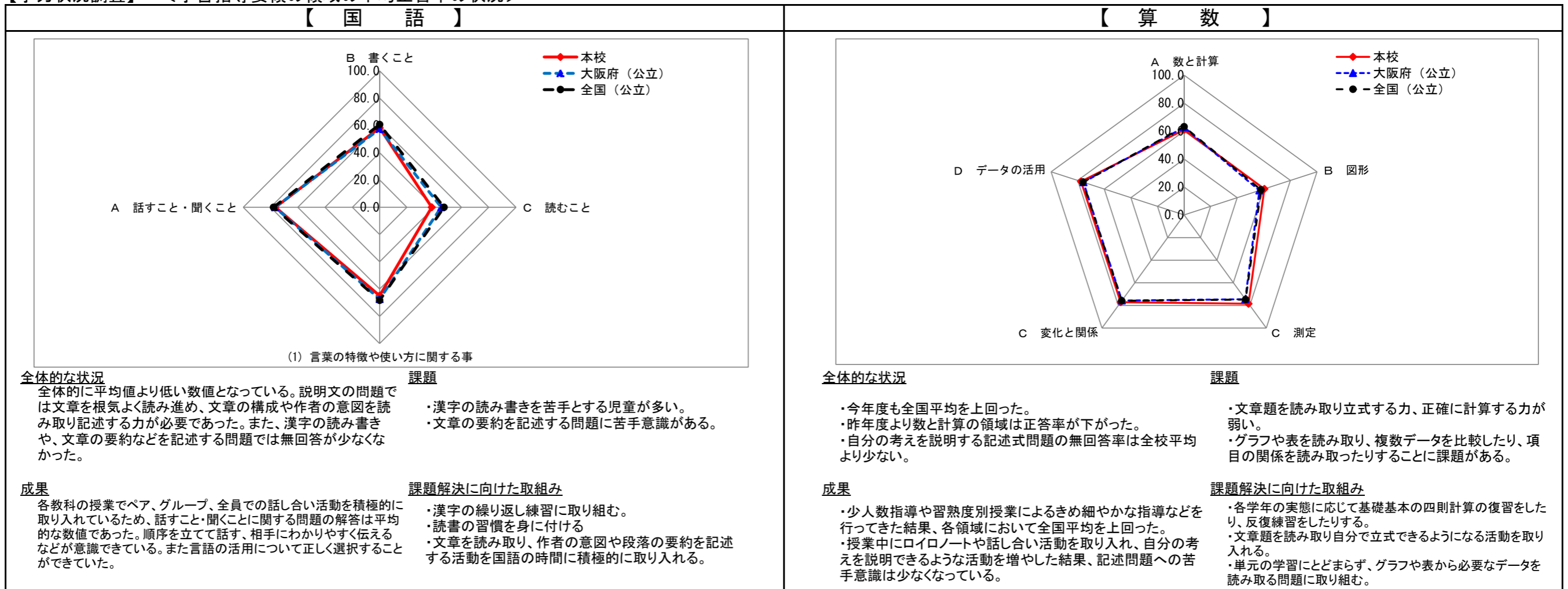


調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国	課題を残した主な項目	本校	府	全国
5年まで受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解し、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていきますか。	91.8	81.5	82.6	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係がわかるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。	67.4	69.6	71.6
5年まで受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	67.4	61.0	63.5	授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか。(1時間以上と答えた児童の割合)	12.2	16.6	18.2
地域や社会をよくするために何をすべきを考えることがありますか。	63.2	48.6	52.4	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。	59.1	57.6	63.1

全体的な状況
一昨年度の結果に引き続き「学校に行くのは楽しい」と感じている児童は全国・府の平均を上回っています。また、決まった時刻の起床・就寝など規則正しい生活を送れている児童の割合も多く、ご家庭でお子さまに目が行き届いている様子がうかがえます。
今年度、特徴的だった項目としては、「自分の考えを相手に工夫して伝える」といった設問に対して肯定的な回答が増えています。一方、読書時間の少ないことや書いて表現するといった設問については肯定的な回答が低い状況となっています。

成果
児童の自分の考えを相手に伝えるという項目において、肯定的な回答が増えてきています。それは、一昨年度からICT機器を使い「ペアで、グループで、話し合い問題解決する力をつける」をめあてに授業づくりの研究を進めてきた成果であると考えています。また、これまで1・2年の生活科、3～6年生の総合学習において「伏山台小学校校区のよさ」をテーマに学習してきたことにより、自分の取り巻く地域のよさや社会に関心を持つ児童が増えてきています。

課題
・「平日30分以上読書している」と答えた児童は府・全国とほぼ同じ割合であったが、「1時間以上読書をしている」と答えた児童の割合が少ない。
・全国的に見ても同じ傾向であるが、休校期間においては規則正しい生活が送れていない。
・国語の授業の中で、自分の考えを支える理由とのつながりや表現方法を工夫して書くことができていると回答した児童の割合が少ない。

課題解決に向けた取組み
・国語の授業において、「自分の考えを他の児童に伝えるために書く」ということを取り入れた授業を多くしていく。
・読書をする習慣は、徐々に児童についてきている状況にあるので、興味を持つような本の紹介や読書通帳の活用等をしていく。
・臨時休校になった時には、毎日のスケジュールや時間ごとの課題を配布し、家庭でも規則正しい生活が送れるよう取り組みます。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

・本校では、「わかりやすく表現する力」を身につけていくことをめざし、ペアやグループで発表する機会を設け実施していくとともに、書いて表現することにも留意し授業づくりを進めていきます。また、お互いの考えを交流することを通して、一人ひとりの考えを認め合える集団作りにも取り組んでいきます。
・読書については、課題の1つになっているもののこれまでの取組みにより、年々肯定的な意見が増えてきている傾向にあります。これからも更なる読書習慣が身につくよう学校と家庭が連携していきたいと考えています。
・昨年度まで色々な授業にICT機器を取り入れ、授業づくりの研究を行ってきました。その研究の成果をもとに、今後はその授業のねらい・児童の様子に応じた、効果的なICT機器の活用をしていきます。